

島根森林管理署

担当者

森林技術指導官:石井勝彦

地域林政調整官:大田勝也

TEL:050-3160-6130

- 島根県は、県土の78% (526千ha) が森林であり、高知県、岐阜県、長野県に次ぐ全国4位の森林県です。この内民有林は約94%で、残り約6% (29千ha) が国有林です。

民有林の人工林率は38%と全国平均46%に比べやや低い状況にありますが、平成22年度から行われている新植支援事業(県単)の効果により、造林補助事業による人工造林面積は増加しています。また、民有林の蓄積量は、30年前の3倍にもなっており、人工林の資源充実と県内の木材利用の推進により、伐採がすすみ、造林面積が拡大しています。

一方、国有林は、森林整備の推進により、国土保全、水源かん養等の公益的機能の発揮に寄与しています。また、三瓶山国有林、船通山国有林及び三ツ石山国有林などは、国立公園・国定公園に指定され、島根県を代表するレクリエーションの場として親しまれています。

- 島根県との地域林政連絡会議では、森林整備推進協定を締結している(独)森林総合研究所を加えた3者により、平成25年度の地域課題の解決に向けた取組の総括を行い、森林整備推進協定に係る施業の実施状況及び次期計画について、平成26年度の取組に向けた意見交換を行いました。

また、県内の国有林・民有林の林業施策の効率化を図ることを目的として、島根県、島根県林業公社、森林総合研究所並びに当署による4機関で、情報共有会議を開催し、各機関の森林整備の事業量等について情報の共有を行いました。

- 国有林が所在する雲南市、奥出雲町、邑南町とそれぞれ地域林政連絡会議を開催し、各市町の林業施策の概要、地域課題等について幅広く情報共有し、意見交換を行いました。今後は、この会議を契機に、事務担当者間において定期的な情報交換による連絡調整を行い、連携の具体化を図っていきます。なお、このほかの市町についても、優先度等を勘案しながら、今後、地域林政連絡会議の開催に向けた調整を行っていく予定です。



(島根県との地域林政連絡会議の様子)

効率的な林業施策の推進

【課題】 民国連携による施策の推進 (継続)

【取組状況】

- ・ 国有林と民有林(島根県、島根県林業公社、森林総合研究所)の林業施策の効率化を図るため、地域林政連絡会議を開催し、各機関の森林整備の事業量等について情報共有を実施。
- ・ 平成27年度から松江市、江津市において木質バイオマス発電所の稼働が計画されており、安定的な木質バイオマスの供給に向けて、各機関と国有林職員を対象とした木質バイオマス研修会を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 国有林、民有林の森林整備の事業量等を把握することで、民国連携による取組に向けた足がかりとなった。
- ・ 今年度については、民国連携が可能な事業は見当たらなかったが、今後も各機関の予定事業量等について情報収集を予定。
- ・ 木質バイオマス研修会において、県内の木質バイオマス発生量と需要量の見込み、木質バイオマス発電の事業化による経済効果等について理解を深めることができた。今後、木質バイオマス発電所、チップ工場等の見学を予定。



(情報交換会の様子)



(木質バイオマス研修会の様子)



(H27.4稼働予定)

島根県江津市の木質バイオマス発電施設
しまね森林発電 (Iビェゾリ)
木質バイオマス燃料: 118,000トン/年
発電量: 112,700kw/h

森林共同施業団地の推進

【課題】 森林共同施業団地における民国連携の推進（継続）

【取組状況】

- ・ 森林整備推進協定を締結している各機関から図面等の提供を受け、島根県森林GISへ作業履歴等のデータ投入を実施。
- ・ 各流域ごとに民国連携運営協議会を開催し、協定箇所23団地について、事業計画の実施状況及び実施予定の検討を実施。
- ・ 各流域ごとに定められた地域森林計画期間と各森林整備協定の事業計画期間との整合性を図るため、全ての協定相手方との調整を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 各機関の森林施業等のデータを一元化した森林GISが完成。今後、森林GISを活用した路網整備、事業計画等の検討に利用予定。
- ・ 全協定者から次期事業実施計画期間の同意を得ることができ、今後、各流域の市町村森林整備計画の樹立を期に実施計画を作成予定。

【各流域毎の運営会議の様子】



高津川流域

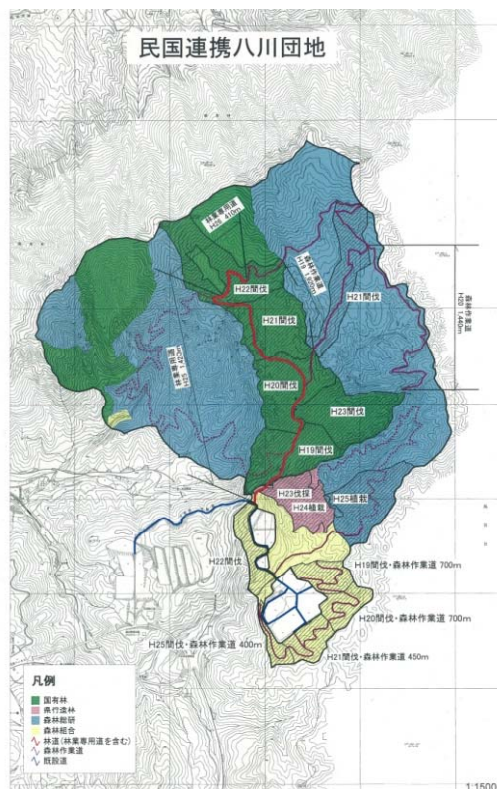


江の川下流流域



斐伊川流域

【森林GISで整理された図面】



鳥獣被害対策の推進

【課題】 ニホンジカ被害の未然防止（継続）

【取組状況】

- ・ 国有林内におけるニホンジカの被害・生息状況を把握するため、簡易生息・被害調査を実施。
- ・ 国有林野等所在市町村長有志協議会等の各種会議において、各機関からシカ被害に係る情報の収集を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 簡易生息・被害調査を行った結果、島根県内の国有林内でのシカの生息は確認できなかった。今後、主伐・再造林を進めていく中で、シカの生息状況を常時把握し、被害防止対策の検討が必要。



（市町村からの情報収集の様子）

林産物の安定供給

【課題】 木質バイオマスの供給体制の整備（新規）

【取組状況】

- ・ 雲南市の森林バイオマスエネルギー事業の推進に向け、当概事業の現状と課題等について情報収集を実施。
- ・ 木質チップボイラーの原料となるチップ材の供給に向けて、林産物の競争参加資格の取得手続きについて関係森林組合へ情報提供を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 関係森林組合において、林産物の競争参加資格の申請手続きを実施。
- ・ 今後、雲南市内に所在する国有林の森林資源、搬出等に係る地理的条件等について情報提供を行うとともに、現地視察等のアプローチを検討。



（雲南市との地域林政連絡会議の様子）



今後利用が見込まれる林地残材